

GREEN RADER

全農長野県本部情報
／グリーンレーダー

2022 VOL.521

10



A-Policy【重点事業方針】

野菜きのこ課の取組み

A-Reports

- ・長野県オリジナル赤色ぶどう「クイーンルージュ®」
グランドデビュー 03
- ・農林水産大臣賞に(有)末広農園(JA上伊那)のアルストロメリア ... 04
- ・全農長野県本部 果実・野菜・きのこ専門委員会
青果物生産流通経費高騰対策会議を開催 05
- ・全国ブドウ研究大会 06
- ・夏休みに牧場で酪農体験を! 06
- ・JA長野八ヶ岳・JA中野市 WトップセールスでハクサイときのこをPR ... 07
- ・長野県産巨峰の果汁を使ったフルーツティを発表 07
- ・「野菜の日」に大阪の保育園で食育 08
- ・新採用職員紹介 09
- ・JA全農長野の事業現況 10
- ・今月のおすすめレシピ 10
- ・10月のラジオ番組表 10
- ・編集後記 10



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

野菜きのこ課

野菜きのこ課の取組み

本年度新設された野菜きのこ課では、野菜事業579億円、きのこ事業215億円の合計794億円の事業計画達成に向け令和4年度事業に取り組んでいます。

1. 生産販売状況

長野県内は、春先の低温・降雪による定植作業の遅れ、夏にかけては一時的に激しい気温変化や局地的な豪雨などがあつながら自然災害の発生は限定的で、概して高めの気温と適度な降雨により野菜類は全般的に豊作基調となりました。

このような状況のもと、3年ぶりに移動制限が解除された春の大型連休や盆休みは人の移動が活発化し、外食等の業務需要は回復基調となりました。

一方、内食需要が落ち着き、量販店の農産品の販売額は前年比100%弱にとどまり、総務省の令和4年6月家計調査によると1世帯当たりの食糧支出額は前年同月比マイナス1%と、青果物相場は低調に推移しました。これに対し生産・出荷計画に基づいた販売

企画の事前提案や重点顧客への売込みを強化し、状況に応じた特別対策事業の適時発動により調整機能を発揮して価格の確保を目指しています。

2. 重点推進事項

(1) 計画生産による再生産価格の確保

生産コスト上昇分の販売価格への転嫁が喫緊の課題となっており、各販売部署と連携し市場関係者や取引先への理解促進に取り組んでいます。出荷から販売までの様々な段階でコストが上昇する中、さらなる販売力の強化・需要の創出に向けた取り組みが重要となっています。そのためにも、主力品目は需要動向を十分に考慮した計画的な生産を徹底し、必要に応じて各産地に適した品目転換への誘導を行います。

(2) 出荷販売にかかわる業務効率化

青果物流通では紙や電話・FAXの使用が未だ主流であり、生産者・JA・市場関係者を含めた事務作業の時間は大きな負担となっています。これらを軽減し、有利販売に向けた販売戦略の組み立てや営業活動の強化等へ人と時

間を充てられるよう、全国の先進事例を参考にシステム化の検討を急ピッチで進めています。

(3) 生産強化・コスト低減による系統結集

安定的な販売を維持するためには系統結集による出荷物の確保が必要不可欠です。

例としてジューズ用トマトは出荷量

維持・増加を目的とし、反収向上のため排水性を良好に保つカットブレイカーや収穫作業の労働力不足を補う機械収穫機について研修会、視察を企画し導入を促進しています。ブロッコリーでは、出荷容器（スチロールボックス）を含めた県下統一規格化による販売力の向上と出荷資材コストの低減に向け、各産地で出荷試験を実施し合意形成を進めています。

きのこについては、種菌供給安定化のため県下の拠点となるJA種菌センターに母菌の製造を委託する「JA中核種菌センター方式」を令和4年度か



ブロッコリー出荷用発泡スチロール容器



新品種「長野農工研 B-4 号」



排水性を良好に保つカットプレーカー

ら開始しました。また、ぶなしめじの生産性・商品性の向上や栽培課題を抱える生産向けに（一社）長野県農村工業研究所が開発した新品種「長野農工研 B-4 号」の普及に取り組んでいます。

(4) 品質改善による販売力向上

販売力を低下させる大きな原因となる品質不良は、競合産地・企業と比較して指摘が多い課題となっています。市場関係者や取引先からの情報に基づき品目・出荷地ごとに改善策を徹底し、産地への信頼を維持するため今後も優先的に取り組んでいきます。

(5) 総合力による信州産ブランド向上

9月に入り青果物売り場でも商材の切替えが進む中、秋野菜ときのこ、さらには果実・米という長野県産ならではの総合品目供給力が発揮される時期となりました。多様な品目による売り場確保には従来から取り組んできましたが、今年は野菜・きのこの両品目を扱う取引先はもちろんのこと、どちらか一品目を扱う取引先にも信州フェア企画として普段取り扱っていないアイテムを提案するなど、信州産ブランドを活かし相乗効果を狙った取り組みを強化しています。

(6) 食育による食文化の創出

コロナ禍以降は量販店店頭での対面試食販売は限定された機会にとどまっております。ここ2年間はレシピとともにドレッシングの試供品をお渡しする添付販売を積極的に実施してきました。プレゼントキャンペーンのPRレシピ

の紹介は店頭でも展開し食育提案に取り組んでいます。

また、食習慣に浸透する取り組みとして、幼稚園・保育園や小学校などの教育機関を中心とした各種食育企画は、令和4年3月頃から大都市圏を中心に徐々に再開の動きが出てきています。普及したWEB通信を活用し、各販売部署による量販店担当者研修会や、医療機関および東京都内小中学校の給食関係者（栄養士・栄養教諭等）向け研修会などを訴求ターゲットに食育活動にも取り組んでいます。



産地と消費地をWEBでつないだ食育活動

8月31日「野菜の日」新聞広告

果実花き課

長野県オリジナル赤色ぶどう 「クイーンルージュ®」グランドデビュー

J A全農長野は9月5日(月)、長野県独自の赤色系ぶどう新品种「クイーンルージュ®」(品種名「長果G11」)の出荷が今年から本格化するのを前に、

東京都中央卸売市場大田市場で全農長野運営委員会の神農佳人会長と長野県

の阿部守一知事によるトップセールスを行いました。

大粒で甘く皮ごと食べられる「クイーンルージュ®」は、2019年から栽培が始まり21年産は42トンを出荷、本年度の出荷は150トンを超える計画です。全農長野は、果樹試験場が開発した黒紫系の「ナガノパープル」、長野県産「シャイン



ぶどう三姉妹のディスプレイ

マスカット」と共に、いずれも皮ごと食べられる3品種を「ぶどう三姉妹®」として商標登録し、新たに作成したロゴと擬人化したキャラクター(「裏表紙」)によるPR活動を開始しました。

大田市場でのトップセールスは、東京青果(株)競売場で阿部知事よりクイーンルージュPRの挨拶をいただき、神農会長は市場関係者にぶどう三姉妹の



新たに作成したロゴマーク



試食サンプルで配布したぶどう三姉妹

試食サンプルを配布しました。多くの来場があり、用意したぶどう三姉妹の試食サンプルは瞬く間に無くなり、長野県産ぶどうへの関心の高さが感じられました。

全農長野はJ Aや試験機関と一体となつて、クイーンルージュ®の高品質維持のための全果的な出荷規格検討と目揃いを行い、J Aグループの販売力を高めるとともに、生産基盤の拡充に取り組みを進めます。

第52回 信州フラワーショーサマーセレクション入賞者

賞	品目名	品種名	氏名	JA名
農林水産大臣賞	アルストロメリア	ピンクティアラ	有限会社 末広農園	上伊那
農林水産省農産局長賞	トルコギキョウ	ハビネスホワイト	原田 勝己	佐久浅間
	スタンダードカーネーション	アスペン	村上 正一	松本ハイランド
農林水産省関東農政局長賞	輪ギク	岩の白扇	中村 清一郎	信州諏訪
	アルストロメリア	ミストラル	有賀 美和	上伊那
全農会長賞	トルコギキョウ	パールライトピンク	塩入 敬志	信州うえだ
	輪ギク	岩の白扇	三井 静明	信州諏訪
	アルストロメリア	ハニーソフィア	酒井 弘道	上伊那
	スターチス1年生	オリゾンネイビー	百瀬 友満	信州諏訪
長野県知事賞	スタンダードカーネーション	コーリン	百瀬 明	松本ハイランド
	アルストロメリア	パール	半田 航志	信州諏訪
	トルコギキョウ	レーベジ	山崎 正人	上伊那
	デイスパッドマム	セイオベラピンク	迎 弘樹	信州諏訪
	アルストロメリア	ニア	中原 睦男	上伊那
	トルコギキョウ	ハビネスホワイト	藤森 英一	信州諏訪
日本花き卸売市場協会会長賞	輪ギク	星の輝	小池 崇	信州諏訪
	アルストロメリア	マッサ	古畑 雅一	上伊那
フラワー産業議員連盟会長賞	ダリア	彩雪	田中 佑樹	みなみ信州
	トルコギキョウ	ホワイトパロン	イーステラスはいばら	上伊那
長野県農協中央会長賞	輪ギク	岩の白扇	田中 学	信州諏訪
	アルストロメリア	ハニーソフィア	倉田 良作	上伊那
	アルストロメリア	マリヤパール	小池 潤	信州諏訪
	トルコギキョウ	八重バステルピンク	日下 裕之	上伊那
	セダム	オータムジョイ	竹林 一三	グリーン長野
	スタンダードカーネーション	フレグランス	小澤 真一	佐久浅間
全農長野県本部長賞	リンドウ	アルプスの白風2	遠藤 清保	信州諏訪
	アルストロメリア	マッサ	有限会社 信州グリーンサポート	上伊那
	アルストロメリア	ハニーソフィア	伊藤 哲	上伊那
	トルコギキョウ	しずく	農事組合法人 らいふ	上伊那
	シンフォリカルボス	チャミングファンタジー	梨元 茂	ながの
	スタンダードカーネーション	マンダレイ	小池 直志	信州諏訪
長野市長賞	アルストロメリア	ライムライト	篠原 万郎	信州諏訪
	ベニスモモ	ベニスモモ	太田 和明	ながの
信州フラワーショー運営委員長賞	輪ギク	スーパーイエロー	名取 照雄	信州諏訪
	アルストロメリア	ペルーガ	矢野 源彦	上伊那
	スタンダードカーネーション	セイシェル	阿部 和博	佐久浅間
	デイスパッドマム	スケーター	山本 一寿	信州諏訪
	トルコギキョウ	ハビネスホワイト	菊池 光秋	信州諏訪
	ドリコス	ルビームーン	谷口 昭一	上伊那
	新鉄砲ユリ	オーガスタEX	山中 巧	上伊那
	アルストロメリア	ミコノス	小笠原 秀樹	上伊那
	スタンダードカーネーション	モンブラン	小林 芳文	佐久浅間
	トルコギキョウ	オホーツクの晩夏	株式会社 フロムシード	上伊那
	フウセントウワタ	フィンカルバ	宮澤 博行	信州うえだ
	アルストロメリア	マッサ	赤羽 今男	上伊那

農林水産大臣賞に（有）末広農園（JA上伊那）のアルストロメリア

第52回 信州フラワーショーサマーセレクション

JA全農長野と全農長野花き専門委員会
員会は9月1日（木）と2日（金）の両日、長

野市のJA長野県ビル・アクティ
ーホールで「第52回信州フラワーショー

サマーセレクション」を開催しました
（Ⅱ表紙）。

新型コロナウイルスの感
染拡大により、令和元年の第
51回ウインターフラワー

ショー以来の開催を見送っ
てきましたが、今回、生産者
の技術研鑽に焦点を絞り、出
品物の審査と、生産者とJA
等の関係者に限定した公開
を実施しました。

出品総数は324点にの
ぼり、アクティーホールを満
杯にした全ての花が生産者
の皆さんの高い栽培技術力
により素晴らしい出来栄え
で、本年の厳しい気象経過を
感じさせないものばかりで
した。

出品は、長野県が生産量日
本一を誇るカーネーション
やトルコギキョウ、菊類と、

生産振興を進める夏出荷のアルストロ
メリア、また、秋を感じるセダム、ミ
シマサイコ、ワレモコウなど、本県の
多種多様な切り花が出揃いました。

審査員15名により、花型・茎葉・草
姿の審査のほか、市場性等について審
査され、最高賞の農林水産大臣賞をJ
A上伊那の（有）末広農園のアルストロメ
リア「ピンクティアラ」（Ⅱ表紙）が
受賞されました。褒章数は11賞、合計
45点が入賞されました。

新型コロナウイルス感染防止のため、
従来の開催時に実施していた近隣小学
校の児童を招待した花育活動や、全農
長野花き専門委員会花き青年部による
会場装飾は実施を見送りましたが、近
隣小学校へ花育用パンフレットと共に
出品物の一部をお届けしたほか、JR
長野駅・松本駅の展示を行い、会場外
で本県産花きの紹介を行いました。
あわせて、入賞作品45点はJA長野
県ビル1階ロビーに移設し、来訪され
る皆様に長野県の高品質で美しい花を
お楽しみいただきました。

全農長野県本部果実・野菜・きのこ専門委員会 青果物生産流通経費高騰対策会議を開催

青果物の生産における肥料、農薬や出荷容器等の高騰に対し、卸売市場流通での適正な価格形成と、青果物の消費拡大を目的に、全農長野県本部果実専門委員会、野菜専門委員会、きのこ専門委員会の各専門委員長とJA全農長野は、9月8日(木)と9日(金)の両日、大阪、東京を訪問し青果卸売会社との対策会議を開催しました。

【産地側の出席】

- ・果実専門委員長
JAながの 小池常務理事
 - ・野菜専門委員長
JA長野八ヶ岳 津金代表理事組合長
 - ・きのこ専門委員長
JA中野市 佐々木常務理事
 - ・全農長野 生産販売部 竜野部長 他
- 【9/8大阪地区の出席者】
- 主要卸売会社により構成される 信州果実推進協議会、信州野菜推進協議会の役員、全農長野 大阪販売事務所
- 【9/9東京地区の出席者】
- 主要会社により構成される 長野県

果実販売推進協議会、長野県野菜販売推進協議会の役員、全農長野 東京販売事務所

会議には青果卸売会社代表が出席し、長野県での青果物生産出荷における生産資材・原材料高騰の影響を捉え、青果物販売価格向上対策について意見を交換し、これからの取り組みについて方向付けを行いました。



【大阪会場 9月8日(木)】(左より) 佐々木きのこ専門委員長、津金野菜専門委員長、小池果実専門委員長、全農長野 竜野部長

各専門委員長は「生産流通経費が高騰している。国際情勢の悪化等による肥料原料や穀物等の価格高騰、さらには計画的に輸入できずに、農産物の生産に影響を及ぼしかねない状況にある」と説明し、産地の取り組みへの早急な対応と、継続した情報交換、卸売会社関係者との連携強化について要請しました。

また、燃油価格や電力、人件費、出荷容器や輸送費を含め、良質な農産物



挨拶をする小仲信州野菜推進協議会長(京都青果合同株)上席執行役員



【東京会場 9月9日(金)】(左より) 佐々木きのこ専門委員長、津金野菜専門委員長、小池果実専門委員長、全農長野 竜野部長

を鮮度を保ったまま消費者に届けるためのすべての経費が高騰していることは、消費者の理解情勢がはかられるよう取り組むことについても確認しました。

引き続き、卸売会社と連携したコロナ禍に対応した消費拡大対策による農産物の需要拡大をはかり、適正な卸売市場価格の達成に向けた取り組みの強化を進めます。



協議 平田長野県果実販売推進協議会長(東京青果株)常務

果実花き課



動画を映して園地を説明するJA普及指導員

初めのWEB開催となりました。
午前中は全果連会長賞授与式と動画による園地視察、午後は「需要創造に向けた生産販売の課題」を

テーマにパネルディスカッションが行われました。園地視察では2名の生産者と長野県果樹試験場が登壇し、生産者がJAの普及指導員と共に管理する上で意識しているポイントや心がけていること、果樹試験場はナガノパープル、クイーンルージュの品種特性、裂果軽減のポイントなどを説明しました。WEB出席した県外の生産者も交えて活発な質疑応答が行われました。

パネルディスカッションは、パネリストとしてブドウ主産県（山梨、山形、岡山、長野）の代表と市場、関係機関の8名が、シャインマスカットの生産動向や輸入情勢などを踏まえ、それぞれが情勢や方針などを説明、今後に向けた課題が提起されました。

全国ブドウ研究大会

本県を会場にWeb開催で全国をつなぐ

全国果樹研究連合会（全果連）主催の第55回全国ブドウ研究大会が、8月25日（木）に「次世代のブドウを考える」をテーマにJA長野県ビルを拠点会場としてWEB開催されました。拠点とWEBによる参加者を合わせて約700名が出席しました。

テーマにパネルディスカッションが行われました。



パネルディスカッション

夏休みに牧場で酪農体験を！

「白樺高原長門牧場で酪農体験ふれあいファーム」開催

JA全農長野畜産酪農課は白樺高原長門牧場で「酪農体験ふれあいファーム」を開催しています。この酪農体験ふれあいファームは、小学生を対象に酪農をおして子どもたちに「食」を学ぶこと、働くということ、いのちの大切さを楽しく、体験的に学んでもらうことを目的に開催しています。



ボトルの中で完成したバターを茶こしで濾す

8月20日（土）、東京都新宿区立愛日小学校の小学5年生67名が体験教室の一環で訪れ、牛乳や酪農業について学びました。

て学びました。畜産酪農課の職員がインストラクターとなり、児童は「バター作り体験」「搾乳体験」「アイスクリーム試食」「牧場見学」の4つのメニューを体験しました。

バター作り体験では、児童が5人1組で絞りたての生乳をボトルに入れて振り、生乳からバターができる過程を実感し体験しました。はじめは本当にバターが作れるのか半信半疑だった子どもたちも、振り続けることでバターが完成し、作り立ての香りや色、感触を確かめました。

この体験は子どもたちが酪農を楽しむながら学ぶきっかけになるはず。ぜひ酪農体験ふれあいファームにお越しください。自然豊かな長門牧場でお待ちしております。

酪農体験
ふれあいファームの
詳細はこちら



畜産酪農課

J A長野ハケ岳・J A中野市 WトップセールスでハクサイときのこをPR

ハクサイの主力産地であるJ A長野ハケ岳の津金一成組合長とこの主力産地であるJ A中野市の望月隆組合長が10日早朝、東京都中央卸売市場大田市場内の東京青果(株)と東京荏原青果(株)の青果売り場



(左から) 東京青果・戸塚常務、JA 長野ハケ岳・宮澤部長、由井専務、津金組合長、JA 中野市・望月組合長、佐々木常務、上野部長

を訪問し、ダブルトップセールスを行いました。

長野ハケ岳はハクサイ12万トンを全国に供給する大型葉洋菜産地として、中野市はえのきたけ、ぶなしめじ、なめこ、エリンギを中心に年間7万6千トンのきのこを全国に供給するきのこ総合供給産地として知られています。

今年度上期のハクサイときのこの販売状況は非常に厳しく、さらに培地や肥料を含めた生産資材、流通コストが大きく上昇する中、J Aと全農長野、市場に対し、生産者から需要期の販売回復が切望されています。

両組合長は場内に集まる仲買人や市場関係者に向け、長野県産のハクサイときのこの消費拡大への協力を呼びかけながら、冊子「やさいをたつぷりおいしくレシピー100」「きのこ女子大のヘルシーレシピー」と「野菜フリーズドライお味噌汁」「きのこスープの素」のサンプルを配布し食べ方を提案しました。量販店のバイヤーは「店頭消費宣伝会を解禁していく。長野県産のハクサイときのこをPRしていきたい」と話しました。

コロナ禍で時間の制約がある中でのトップセールスでしたが、いよいよハクサイときのこのトップシーズンを迎えます。全農長野北信事業所は関係者と協力しながら販売拡大に向けたPRを強化します。

長野県産巨峰の 果汁を使った フルーツティを発表

J A全農長野は、長野県とキリンビバレッジ(株)と協力し、長野県産巨峰の果汁を使った「キリン午後の紅茶 季節のご褒美 FRUIT TEA グレープ」発売を9月9日(金)、長野県庁で発表しました。

キリンビバレッジ(株)は同社の飲料「午後の紅茶」シリーズとして、秋のフルーツで人気の高いぶどうを合わせたご褒美フルーツティを作り、ぶどうのなかでも上品な甘みが特徴の長野県産巨峰の果汁を使用しています。

記者会見で全農長野生産販売部の根津彰寛専任部長は、「果物王国の長野県の中でも、ぶどう栽培は、昼夜の温度差が特に大きく、降水量が少ない本県の気候風土に適した品目の一つです。特に巨峰は果汁や甘みが特徴の全国に誇れる品種の一つであり、今も変わらず消費者の皆様へ根強い人気が続いています。この度の新商品発売を契機に巨峰の美味しさを多くの皆様にご賞味いただき、改めて青果の消費拡大にも発展することを祈念しています」と話しました。

J A長野県ビルの食堂しなの木では12日(月)に「キリン 午後の紅茶 季節のご褒美 FRUIT

「野菜の日」に大阪の保育園で食育



ハクサイ、大きくて重い

J A全農長野大阪販売事務所は8月31日の「野菜の日」にあわせ、大阪市ふじのもり保育園、たつのご保育園、こすも保育園の240人の園児を対象に食育授業を開きました。新型コロナウイルスの感染防止に配慮し、全農長野の職員は参加せず、レタス、ブロッコリー、ハクサイ、チンゲンサイ、ズッキーニを各1箱と説明用の資料などを提供しました。

園児は、レタスの収穫や産地の様子を収めた画像やクイズ形式で学び「ハクサイ、大きくて重い」「お

腹減ってきた！」と話しました。提供した野菜は給食でサラダやシユラスコとスープ等に調理され、「このレタス、シャキシャキしておいしいね」、紹介された野菜を見つけて「ここにあった！」などと話しながら食べました。

帰りに園児は、保護者にお土産のズッキーニを嬉しそくに渡し、学んだ野菜のことを話していた。

保育所の協力をいただき、園児に野菜に興味を持ってもらうことができました。

全農長野大阪販売事務所は、今後も工夫をしながら食育活動に取り組めます。



ブロッコリー、どんな香りかな



帰りに園児は、保護者にお土産のズッキーニを嬉しそくに渡し、学んだ野菜のことを話していた。

保育所の協力をいただき、園児に野菜に興味を持ってもらうことができました。

全農長野大阪販売事務所は、今後も工夫をしながら食育活動に取り組めます。



根津専任部長、キリンビバレッジ㈱東日本統括本部 椎谷直孝関信越支社長、県農政課 農業政策課 村山一善農産物マーケティング室長

T T E A グレープ」の試飲会を実施し、大盛況でした。

新採用職員紹介

令和4年度の新採用職員を順次ご紹介します

中信事業所 営農資材課  なかじまかなえ 中島叶絵



農家の方の要望にそった
肥料のご紹介ができるよう頑張ります！

はじめまして。中信事業所営農資材課の中島叶絵と申します。出身は松本市です。大学生の時に所属していた農業サークルの活動をきっかけに農家の方や農業に関わる仕事がしたいと思うようになり、入会いたしました。

趣味は小物作りや読書です。甘いものが好きなので、いつかスイーツめぐりをしたいと考えています。

自身の業務に関わる肥料や農業等の知識がないため、日々勉強中ですが、JAや農家の方の力になれるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

北信事業所 生産販売課  みむらしょうき 三村昇輝



「きのこ」勉強中です！

はじめまして。北信事業所生産販売課の三村昇輝です。出身地は松本市です。

幼いころから長野県の農業に携わりたいと思っており、入会を決めました。

実家が畜産農家を営んでいるため、休日は両親の手伝いをしに実家に帰っています。

現在は、北信地区のきのこ担当者として勉強の毎日ですが生産者様のお力になれるよう精進してまいりますのでご指導応援のほどよろしくお願いいたします。

北信事業所 営農資材課  たなかかず 田中カズ



「乗用モア」オススメです！

はじめまして。北信事業所営農資材課の田中カズと申します。出身は長野市で、幼少期からたくさんの長野県産農畜産物を食べて育ちました。また、祖父母が稲作をしているため、農業は私にとって身近なものでした。

趣味はサッカーです。長年スポーツをやっていたこともあり、身体を動かすことが好きです。

肥料、農業機械についての知識は乏しく、まだまだ未熟ではありますが、JAや農家の方々の力になれるよう精進してまいります。よろしくお願いいたします。

JA全農長野の事業現況▶

令和4年度8月末部門別実績表

(単位：百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
生産振興課		17	—	—
野菜種苗センター		107	87	85
生産振興部計		124	101	99
米	穀	5,480	88	78
果実花き		14,527	114	117
野菜きのこ		32,793	85	100
営業		5,695	86	101
生産販売部計		58,495	91	101
包装資材		3,365	98	105
生産資材		4,662	117	116
農業機械		2,865	97	97
施設住宅		2,278	94	103
生産購買部計		13,169	103	106
畜産酪農		12,866	100	97
三岳牧場		116	112	117
SPF繁殖センター		130	102	104
ハケ岳牧場		87	81	86
畜産酪農部計		13,199	100	97
燃料・ホームエネルギー		10,182	103	107
S S 協同経営		3,161	106	111
生活		3,752	102	97
生活部計		17,095	103	105
長野県本部計		102,081	96	102

(内部販売高含む)

10月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
10/26(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえびりでい内 「暮らしの応援団」	野菜きのご課

今月のおすすめレシピ

長野県産野菜採れたて出荷キャンペーン
第3弾レシピ

ブロッコリーと アサリのレンジリゾット



■材料(1人分)

- ・米……………40g
- ・水……………200cc
- ・コンソメ……………1/2個
- ・牛乳……………100cc
- ・シュレッドチーズ…30g
- ・ブロッコリー……………1/2株
- ・アサリ缶……………50g
- ・黒胡椒……………少々
- ・オリーブオイル……………適量

■作り方

- ①ブロッコリーは小房に分ける。
- ②耐熱ボウルに米と水、コンソメ、アサリ缶(汁ごと)を入れ、ふんわりとラップをかけた後、600wの電子レンジで10分加熱する。
- ③②に牛乳、チーズとブロッコリーを加えたら、再びラップをして電子レンジで3分ほど加熱する。
- ④③をお皿に盛ったら、オリーブオイルを回しかけ黒胡椒をふる。

ワンポイント
アドバイス

アサリ缶は汁ごと使うことで、濃厚なアサリの旨味を楽しむことができますよ。

グリーンレーダーの ツイッターを始めました

JA全農長野
【公式】グリーンレーダー

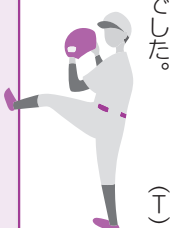
@ja_greenradar



編集後記

朝晩も涼しくなり、いよいよ秋らしくなってきました。家の前のりんご畑の秋映も赤く色づき、収穫はもうそこまで来ております。

さて去る、9月9日(金)10日(土)の2日間、さいたま市大宮けんぼグラウンドにおいて、全農関東甲信地区役職員親睦野球大会が3年ぶりに開催されました。過去2年間は新型コロナウイルス感染症により中止となりましたが、今年は、当県本部が幹事県となり、感染防止対策を徹底し、関東甲信地区9都県本部に全国本部を加えた10チームで熱き戦いが繰り広げられました。各都県本部チームとも新型コロナウイルス感染症の影響で、練習不足ではありましたが、久々の実践ということで好プレー、珍プレーが続出しておりました。結果は、群馬県本部が見事優勝。準優勝は茨城県本部、我が長野県本部は惜しくも1回戦で千葉県本部に敗れました。とはいえ、一生懸命に戦った選手1人1人の表情は、最近では見たことのない笑顔が溢れ、幸せな気分になりました。選手の皆さん本当にご苦労様でした。





光と風と水のハーモニー
JA全農長野

ぶどう三姉妹[®]



グリーンレーダー10月号 (毎月発行) 2022年9月20日発行 第521号
発行/ JA全農長野 長野市大字南長野北石堂町1177番地3
発行人/ 高田武司 印刷/ PO印刷株式会社 長野市青木島3丁目3番地3



光と風と水のハーモニー
JA全農長野



JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

